

---

# コロナ禍を経てなお、見直し、継続していく地域連携 ～地域性と小規模校の特性を生かした、伝統文化の継承～

三重県四日市市立塩浜中学校 P T A  
前会長 長 濱 太

---

## 1 はじめに

### (1) 学区の概要

四日市市塩浜地区は三重県北部の伊勢湾に面した沿岸にあります。元々は沿岸漁業が盛んな漁村でしたが、第二次世界大戦後、塩浜地区には日本で初めてとなる火力発電と石油化学工業のコンビナートがつくられました。昭和30～40年代の急速な工業化の結果、四日市ぜんそくの被害地区となった過去があります。しかしながら現在では、公害の原因となるような大気汚染等は改善されています。

また、本校が隣接している四日市第1コンビナートの工場群ですが、夜間の景観が素晴らしいことから、夜景の名所として有名な地域となっています。

### (2) 本校の概要

本校は、昭和22年4月に塩浜小学校南校舎を借用して開校しました。昭和24年に中学校校舎が完成しましたが、昭和34年の伊勢湾台風で大きな被害を受けました。その後、昭和43年に現在の校舎に新築移転しました。

本年度の全校生徒数は85名で、今では市内で最少の生徒数の中学校です。しかしながら昭和30年代後半には、1,100名を超える生徒が在籍していました。

「人間性豊かで、創造力・実践力に富む生徒の育成。小規模校のメリットを最大限に活かした教育。」という教育目標のもと、生徒一人一人が自分らしくのびのびと元気いっぱい学校生活を送っています。また、教職員、保護者、そして地域住民と一体となり、安心、安全な学校づくりに努めています。

### (3) P T A組織と活動について

本校 P T A は、本部役員（会長1名、副会長2名、書記2名、会計1名）6名と、学級委員6名の計12名で構成されています。学級委員は、3つの部（環境部4

名、社協の文化体育部1名、社協の福祉環境部1名）のいずれかに所属しています。

本部役員は、2年目役員3名、1年目役員3名で構成され、毎年3名が改選されます。

P T A の主な活動は、広報紙の発行、除草作業、人権コンサートの開催などがあります。

会長は、毎年10月に開催される、塩浜地区文化祭の実行委員会に参画し運営を担うほか、年間5回開催するコミュニティスクールの運営委員会の委員長として、教職員代表者および、自治会の代表者と連携し、より良い学校運営の実現に向けて活動を行っています。2年目の書記は塩浜地区社会福祉協議会の人権部に所属し活動を行い、1年目の書記は塩浜児童館の運営委員を兼務します。また会計は塩浜地区青少年健全育成委員会にも所属し会計を兼務します。

## 2 P T A と地域連携活動について

### (1) コロナ禍前後での行事活動の見直し

塩浜地区ではコロナ禍以前には、以下の地域行事も実施していました。

- ・「まつりだ！みんなあつまれ！」
- ・クリスマス会
- ・スポーツ鬼ごっこ大会
- ・地区別懇談会
- ・鈴鹿川のクリーン作戦

しかし、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行による行動制限や、人口減少による活動団体の消滅により、現在は上記の地域行事を中止しています。

### (2) 継続した地域連携/伝統行事の事例

#### ア おつきみフェスティバル

毎年、月見の時期に開催しています。もともとはお月見泥棒という風習にな

らったイベントでしたが、現在は人権・文化をテーマに地域住民の交流を深める目的のイベントへ変化して来ています。

事前の運営確認の会合は1度行い、開催日の役割分担を決定します。会場の設営は当日の朝から開始します。会場となる体育館の床に設置するシートは前日に学校側の協力で設置頂いており、当日はパイプ椅子の設置、お団子やお茶の準備、抽選会の景品の用意を行います。

人権啓発講演会を開催するとともに、小学6年生の児童が作成した人権啓発ポスターの展示を実施しています。人権・文化をテーマとしたイベントですが、若年層だけでなく高齢者向けの内容も多くあり、年齢層を問わない交流の場を提供することができます。



写真1. おつきみフェスティバルの様子1



写真2. おつきみフェスティバルの様子2



写真3. おつきみフェスティバルの様子3

## イ キッズパトロールと天体観測会

毎年、8月上旬に開催しています。塩浜地区青少年健全育成委員会が主催する行事です。7月に行われる役員会で、事前の運営確認が行われ、この席上でイベント当日の役割分担や、参加者へのプレゼントの品物を決定します。また、開催当日は、パトロールのゴール地点となる小学校で、受付の準備や、移動天文車の誘導、参加者へのプレゼントの準備を行います。

パトロール活動は、18時からPTAと地域の大人達と子ども達と一緒に、町内の各地から塩浜小学校までの通学路の安全を点検することを目的の一つとして、パトロール活動を行います。なおパトロールの結果、危険な箇所が見つかった場合には、後日対策を実施します。パトロールのゴール地点の小学校へ到着後、校庭にて、四日市市博物館が所有する移動天文車「きらら号」を利用し天体観測を行います。

コロナ禍で3年間中止していたイベントでしたが、COVID-19が5類に移行した2023年から再開しました。夜の通学路を歩いたり、天体観測をしたりと子ども達にとって非日常的な体験の場となっており、参加者からは貴重な経験ができたという好評の声が多く寄せられるイベントです。



写真4. キッズパトロールの様子1



写真5. キッズパトロールの様子2



写真6. 天体観測会の様子1



写真7. 天体観測会の様子2

## ウ 塩浜地区文化祭

毎年10月中旬に開催しています。塩浜地区の地域住民が一同に集うお祭りです。この文化祭は、塩浜地区連合自治会と社会福祉協議会が共催し、PTAや各種団体、地元企業が協賛する、まさにオール塩浜で開催されるイベントです。実行委員会が6月に発足し、6月中旬と10月初旬の委員会で各担当の選出やブースの配置、前日準備の流れの確認や、当日のプログラムの内容を決定していきます。文化祭の2日前に展示物の受け入れ、前日と当日の朝にメイン会場の設営や展示会場の設営・掲示を行います。当日は会場内および駐車場の誘導を行います。特に鯨船行事の披露の時には、会場に隣接する駐車場から鯨船を移動させるため、交通誘導を行い事故が発生しないように対応します。また、文化祭終了後即日、展示スペースの片付けを実施し、翌日にメイン会場の後片付けを行います。

文化祭では保育園、小学校、中学校の園児・児童・生徒の図画、工作等の作品の展示をはじめ、地域住民が趣味で創作した作品（写真、習字、絵画等）の展示が実施されます。

また、獅子舞や鯨船行事の披露、保育園

児によるお遊戯発表、塩浜農楽隊の演奏等も行われます。コロナ禍中も、感染対策を行いながら継続して開催してきています。

運営側の実行委員会のメンバーは、高齢者が多いため、若い世代のメンバーが率先して現場の作業を行い、塩浜地区の住民が総出で協力し、毎年素晴らしいお祭りを継続開催することができています。



写真8. 塩浜地区文化祭の様子1



写真9. 塩浜地区文化祭の様子2



写真10. 塩浜地区文化祭の様子3

## エ 人権コンサート

毎年12月の初旬、塩浜中学校の体育館で開催しています。塩浜地区社会福祉協議会が主催し、塩浜地区市民センター、塩浜中学校PTAが共催するイベントです。私達PTAは、会場設営と撤収をメインで行います。

人権について考える活動の1つとして人権啓発の講演会や人権にちなんだアーティ

ストによるコンサートを実施しています。

直近のコンサートセッションでは、参加者全員で歌うことができる曲や、手話を用いながら歌うことができる曲が選曲され、アーティストと参加者が一体となって、元気よく歌声を合わせることができていました。会場は温かくほっこりした空気に包まれ、生きることの大切さや命の尊さを参加者全員で共有することが出来るイベントとなっています。

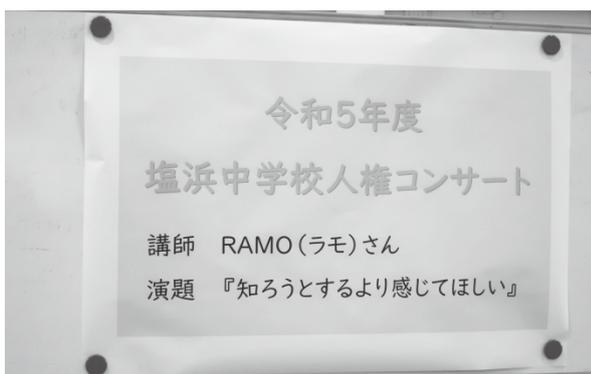


写真11. 人権コンサートの様子1



写真12. 人権コンサートの様子2



写真13. 人権コンサートの様子3

### 3 PTAと地域連携の今後の方向について

#### (1) コロナ禍を経て中止している行事の再開について

コロナ禍を経て中止している行事、イベントについて、再開を望む声が、子ども達から上がっていると、塩浜中学校の

先生から聞いています。地域の伝統活動や文化が、子どもたちの中に、確かに根付いてきていることが伺える貴重な声であると感じていますし、地域として誇らしいことでもあると思っています。行事、イベントの再開は、容易でないこともありますが、伝統を絶やさずに、繋いでいくことへ、PTAとしても貢献していきたいと考えています。

#### (2) 地域性と小規模校の特性を生かした、伝統文化の継承について

以前は人口が多く、生徒数も多かった塩浜地区ですが、現在ではその減少が著しく四日市市内の中学校で最も在校生が少ない学校となっています。しかしながら、学校行事や地域の行事等を通じてPTAと地域団体（塩浜地区連合自治会や社会福祉協議会等）とが互いに協力することで、以前にも増して強い連携を持つことが出来ていると考えています。

また、塩浜地区の人口減少に伴い、本校は小規模校化という課題も抱えていますが、生徒数が少ないことで子どもたちは、教職員、保護者、地域住民と接する機会が増え、結びつきは強まっています。このような環境で育つ子どもたちは、自然に地域コミュニティに対する理解度が高まります。これは地域愛・郷土愛の醸成に繋がっていくものとみています。

私たちPTAは子どもたちが毎日楽しく、安全に過ごしていけるように見守り、そして地域一丸となって子どもたちを支えることに日々取り組んでおります。この取り組みが、子どもたちが将来大人になった時、次世代の担い手として、塩浜地区を支えることに通ずるものと信じており、伝統を継承しながら、より良い塩浜地区の将来に繋がって行くものと考えています。

### 4 おわりに

これから先も生徒数の減少とPTA会員数の減少は継続的な課題となるものとみています。そのような状況下ではあるものの、小さな地域ならではの連携の良さを生かして、今後もPTAが地域活動に積極的に参加し続けるとともに、私自身もPTAをはじめとする地域活動に貢献していきたいと考えています。